

システム理工学部

2.DPを含むアセスメント結果の活用

方法・指標	実施時期	対象年次	結果の活用
入学時・卒業時・パネル調査	10月～1月の間	全学年	教学IRプロジェクトの教授会でのフィードバックを受けて、改善推進委員会において議論・検討を行い、カリキュラム改善や学習環境の充実に活用する。
基礎学力調査	4月	新入生	新入生入学時の基礎学力調査を行い、学習支援と履修指導に活用する。
各種成績(単位取得状況, GPA等)	9月, 3月	1, 2, 3年生	学生の成績状況を把握し、カリキュラムや授業の改善、学習支援や履修指導等に活用する。
成績不振者調査	9月, 3月	1, 2, 3年生	単位取得が思わしくない学生に対して個別面談を行い、履修指導を行う。また、学習環境の充実に活用する。
授業アンケート	7月, 1月	全学年	結果をフィードバックし、授業改善に活用する。
シラバスチェック	2月	全学年	教育や学習がCPに則って適切に進められているか確認し、カリキュラムの改善に活用する。
特別研究の評価	2月	4年生	卒業論文と口頭発表により、基礎知識と専門知識・技能の統合、分析力、柔軟な思考による論理的な結論を導出する能力を評価する。
進路状況	3月	4年生	支援強化、自己点検・評価に活用する。
TOEIC-IPの英語力調査	7月	1年生	英語力調査により、コミュニケーション能力向上の目標設定に活用する。また国際力向上に向けたカリキュラム改善に活用する。